

福島原発震災と教職員組合の取組み

―鈴木浩行さん（福島県教職員組合郡山支部書記長）に聞く―

LABOR NOW 脱原発ビデオ・プロジェクト

「LABOR NOW 脱原発ビデオ・プロジェクト」によるインタビュー記録の二回目。同プロジェクトは、ビデオ『 Fukushima 原発震災、被災者の声をたどる旅』の制作過程で、多くの被災者にインタビューをすることができた。そのなかから今回は、鈴木浩行さん（福島県教職員組合郡山支部書記長）のインタビュー記録である（二〇一二年六月二三日、福島県教職員組合郡山支部会館）。さらに、二〇一二年二月一〇日に、再度インタビューをして、二〇一二年六月以降の取組みについても聞いた。

なお、インタビュー映像の一部は、以下のサイトから視聴できる。

LABOR NOW 脱原発ビデオ・プロジェクト

<http://nonukes Fukushima.blogspot.com/>

1 二〇一二年八月のインタビューから

1 三月二二日二時四六分

あの日、書記の中路良一さんと二人で事務所
で仕事をしていました。二日前にも大きい地震

があったので、またか、という気持ちでした。揺れはどんどんと激しくなり、私は買ったばかりのテレビを押さえていましたが、本棚が倒れました。

中路さんが外に出ると、会館（福島県教職員組合郡山支部会館）の前の家の瓦が飛ぶように降ってきて、彼はその瞬間に「原発！」と叫んで事務所に戻ってきました。水道やガスが止まり、会館の前の道路は液状化現象をおこしました。火事のサイレンがなり、渋滞に巻きこまれるなか、私は夜の七時過ぎに帰宅しました。

私の家は郡山市の東に位置します。固い地盤のために家のなかの本は一冊も落ちず、自宅では電気も水道もガスも止まりませんでした。テレビをつけると、原発が危ないらしい、と伝えられていました。中路さんが言ったとおりの状況になっていました。翌日二二日は土曜日で、テレビでは一号機の水素爆発の映像が流されました。各原子炉の電源が停止し、水位の低下が伝えられました。一五日に映像で三号機の爆発を

みたときには、もうダメだ、と思いました。三号機はプルサーマルであると組合主催の学習会で知っていたからです。爆発の拡がりをみたときには、ただ事ではない、と感じました。ここは原発から五〇キロで、消防からは一二〇キロが安全ゾーンであるという情報も聞いていたからです。

そこで、三月一六日に組合の会津支部の事務所をお願いして、私や知り合いの子どもたちを会津若松に避難させました。その頃のテレビ報道は、どれも過去形で伝えていたので、とにかく早めに行動しようと思いました。

2 郡山支部の震災直後の対応

震災のあと、市内の学校は避難所になりました。地域のライフラインが止まり、子どもたちは登校できませんでした。

組合としては、電話がつながらないために分会との連絡手段がありません。ガソリンもなく、移動もできません。ただ、FAXだけはつながったので、震災後初めて、三月一五日にFAX通信を各学校の分会に流しました。その後、私たちはFAX通信「どんとこい」を出し続けます（資料①参照）。

FAX通信に対する組合員である先生たちの反応は様々でした。組合が主催した原発の学習会に出ていた人たちは、原発に対する危機感があつたと思います。でも、原発から煙が上がったくらいに思う人もいて、震災直後の時点

各分会長様
どんどい 56 2011.3.15
緊急
 安全性が十分に確認される
 まで組合の会合等を中止・一時停止します。

- 16日 養護教員部歓送会 (中止)
- 17日 分会代表者会議 (中止)
- 奨学金募集 (一時停止)

TEL 932-2134 FAX 932-2143

資料①：FAX通信2011年3月15日号

- ⑥ 室内は、郡山支部で(〇・一八μSv)
- ⑤ 特に、雨水マスでは外の数値が、〇・五μSv/hの場所でも、九・九九μSv/h以上となっている。
- ④ 雪・雨に溶けた放射能物質がしみこむ花壇や校庭では、高い。(校庭で二倍程度観測された所もある。)
- ③ 花粉などの空気中浮遊物が堆積している場所には、たまりやすい。
- ② 放射能は、郡山市内で濃淡がある。
- ① 放射能の観測値(公式発表)は信頼できる数値である。

各分会長様
どんどい 70 2011.3.30
郡山支部 独自調査!!
 放射能測定器を借りられたので郡山市の各地の放射線量を測定してきました。

公式発表
 郡山市合同庁舎入り口 2.65μSv/h (3/30 (水) 7:00)
 福島県内各地方環境放射能測定値(暫定値)(第360報)
 福島県災害対策本部

20日以上が経ち、今度も継続する状況の中止。翌下校・運動会など外での学校行事・部活動等について、重要な情報が求められます。

TEL 932-2134 FAX 932-2143

資料②：FAX通信 2011年3月30日号

で情報はなく、どれほどの人が危機への自覚をもっていたのかわかりません。さらに組合として、三月二四日の卒業式を遅らせて、短い時間で簡易にやっつけてほしいと、教育委員会に申入れをしました。教育委員会も危機感をもっていたのでこれを受け入れました。また、入学式は四月六日の予定でしたが、こちらはできないだろうと思っていました。避難者が続々と郡山に来ていたからです。さらに、学校の校舎の損害がひどく、安全点検が必要でした。郡山市の教育委員会は、入学式を四月一日に延期するという措置をとりました。

3 放射線量を独自に調査

郡山市内の放射線量が高いと自覚したのは、三月二〇日ごろだったと思います。テレビで、郡山市は毎時一マイクロシーベルトくらいで、福島市は毎時五〜六マイクロシーベルトと報道していました。それが二五日だったかな。郡山

市で急に上がりました。それは合同庁舎の三階で測っていたのを一階に移したからです。文科省で「はかるくん」の貸出をしているという情報があったので、三月二八日付けのFAX通信で、各学校で借りて測定するように伝えました。三月二九日には郡山支部でも、文科省とは別の放射線測定器を借りることができました。それでいろいろな所を計ってみよう、ということになりました。ここは毎時二・二マイクロシーベルト、原発に近い所でも毎時〇・四マイクロシーベルトと、場所によって放射線量が違うことなどがわかりました。そこで、各地点で共通して分かったことを次の六項目にまとめて伝えました。

【三月三〇日付けのFAX通信より】(資料②参照)

① 放射能の観測値(公式発表)は信頼できる数値である。

② 放射能は、郡山市内で濃淡がある。

③ 花粉などの空気中浮遊物が堆積している場所には、たまりやすい。

④ 雪・雨に溶けた放射能物質がしみこむ花壇や校庭では、高い。(校庭で二倍程度観測された所もある。)

⑤ 特に、雨水マスでは外の数値が、〇・五μSv/hの場所でも、九・九九μSv/h以上となっている。

⑥ 室内は、郡山支部で(〇・一八μSv)

h)、他の観測地点でも(〇・一〜〇・七μSv/h)程度です。

4 文科省への不信と薫小学校の説明会で

当時、郡山市教育委員会も危機感をもっていました。とくに郡山市立薫小学校で、四月七日の県による調査で毎時四・五マイクロシーベルト(地表一メートル)という数字が出ていたからです。県が測定に来る以前にも、私たちが校長さんと一緒に測ったときには、マスの所で毎時九マイクロシーベルトを振り切っていたので、校長さんはだめだと感じていました。その声は郡山市教育委員会に上がり、郡山市が表土を削るといふ動きにつながったと思います。

実際に管理職がみている前で計らないと危機感を持ちづらいし、どれほどすごい状況になっているのかは、自分で計らないとわからなかったと思います。しかし、後に政府は表土を削るまでの必要性は低いと、とんでもない発表をし

ました。

文科省は四月二二日に薫小学校で説明会を開きました。ここには、薫小学校だけでなく他校の管理職の人たちや保護者、組合の関係者、教育委員会、地域の人たちまでが会場の体育館に集まりました。たぶん毎時三・八マイクロシーベルト以上の放射能の高い学校で説明会を開いていたのだと思います。そこで文科省の人は集まってきた私たちに「影響はない。だからこの基準を出した」と言いました。文科省は、四月一九日、学校における暫定基準を年間二〇ミリシーベルト、毎時三・八マイクロシーベルトと発表していました。

一方、私たちの質問には、「わからない、放射線管理区域の担当者も知らない、持ち帰って返答する、県へ聞いてほしい」とかわすような内容だったので、参加した保護者等は危機感をもったと思います。

当時は、削った校庭の土については、持って行き場がないので、校庭の一角に集めてブルーシートをはって、立ち入り禁止のテープをはっていました。その後、校庭に埋めるという措置をとりましたが、最終的には貯蔵施設へ運ぶこととされています。

5 分会や市民への貸出をスタート

【五月九日付けのFAX通信より】

「郡山支部で注文していた放射線測定器が海をこえてやっと到着です。九九・九μSv/hま

で計測できるものです」

【五月二二日付けFAX通信より】

「高圧洗浄機支部で購入貸出マスー」

郡山支部は一般の市民を対象に、放射線測定器の貸し出しをしています。また、学校はそれ用の予算がないために高圧洗浄機を購入できません。大きな学校ではPTAでお金を集めて購入するケースもありますが、小さな学校ではそれもできません。市へ要望を出しましたが、買えないということだったので、組合で買って貸し出しすることにしました。一〇万円くらいのもので、主に、校庭の壁や犬走りなどを洗浄しました。側溝はかなり高いので、市に側溝洗浄を申し入れしました。学校での除染は保護者と協力してやっています。窓やサン、犬走りなどで、効果は出ています。しかしながら、服装やマスクなど放射線防護についても十分に注意するよう呼びかけました。

6 安全サイドに立てる情報を伝える

山下俊一さん（福島県放射線健康リスク管理アドバイザー）が安全・安心だと言ったでしょう。

急激に体調が悪くなるのではないので大丈夫だという人たちと、非常に心配している人たちとの意識の差が広がっています。これが危険だと思っています。生徒を守る立場の先生たちが、学校のなかで分断されてしまうのは問題です。

だから安全サイドに考えられるような情報を組合が流して、意識を高めていきたいと考えています。私たちが発行するFAX通信は、学校によっては増す刷りされて、先生たちに配布されています。現場からは「参考になりました」という意見などが寄せられるようになりました。その一方で、高校は県の教育委員会の管轄で、文科省の年間二〇ミリシーベルト基準を受け入れませんでした。プールや部活の制限もありません。次第に薄れゆく危機意識のなか、中学校でも部活が盛んなので、大丈夫だという意識になりやすいのが心配です。

二〇一二年二月のインタビューから

1 汚染の状況

現在、学校ではいろいろな活動が制限されていて、二〇一二年度も改善の見込みはありません。放射線量は急に下がることはない、同じ状況が予想されます。

郡山市内の学校での屋外活動は、三時間ルールとなっています。もちろん校庭の表土は削って入れ替えていますので、土壌の汚染は低くなりました。しかし、それでも心配なので、運動会は午前中で終わりにし、学校の屋外プールは使用しないで、学外の屋内のスイミングスクールを利用して授業を行いました。

組合では空間線量を測る計測器だけでなく、

各分会長様

どんどい 175 2011. 10.13

小学校1年生 生活科 たのしさ いっぱい あき いっぱい
あまの おもちや だいしゅうとう!

木の実や落ち葉がたくさん必要

「生活科」の学習するに際して、
木の葉や落ち葉をいかに活用し、放射線がどれ
くらいたまわらないかを確かめよう。
【腐葉土から木を育てる】
【落ち葉を堆肥にする】
【落ち葉を燃やして土を暖める】
【落ち葉を燃やして土を暖める】

全国の学校と繋がろう!! 組合がお手伝いします

分委名 担当 電話番号

〒114-8501 東京都荒川区西日暮里5-1-1 TEL 03-2264-XXXX FAX 03-2264-XXXX

資料③：FAX通信 2011年10月13日号

雪を測定したときは、砂粒などの不純物が混ざっていたために三八ベクレルでした。雪そのものの値ではなく、風で巻き上がったものが落ちてくる可能性が高く、気をつけるべきは砂粒や埃だと私は思います。

表面汚染を簡易に測る計測器も購入してチェックしています。表面汚染を測定するといろいろなことがわかってきます。一番高い値が出るのは、コンクリートです。放射性物質はそこに留まります。一方、土は思ったほど高い値は出ません。地下に染みこんでいくからです（無くなったわけではありません）。コンクリートの場合は、染み込みませんし、表面のデコボコがあるために表面積が広く汚染が高く出ています。デッキブラシですすつてもダメでした。八割の汚染を落とすのに三〇分もかかりました。

市内の公園の除染は、しぶんと進んでいます。数が多いので、汚染の高いところからやっています。子どもたちは知らないうちに土にふれた手をなめたりするので、土の表面をきれにすることは、内部被ばくを減らすうえで重要だと思っています。

空間線量の場合は、四方八方から放射線が飛んでくるので、あらゆる所を削ってきれいにし

ないと下がりません。除染をしても流しても、絶対量は減らない。空間線量を減らそうとすると非常にむずかしい。そうすると、生活者が気をつけるのは、内部被ばくを減らすことです。土の表面をきれいにすることや、食品のベクレル数を測ることが大事になります。現場にもそれを伝えるように意識しています。

給食の食材の測定は郡山市が行なっています。問題なのは基準です。市の給食食材の基準は（一キロあたり）一〇ベクレルです。文科省の現行の暫定規制値は五〇〇ベクレルで、これを二〇一二年四月から一〇〇ベクレルに引き下げることになっています。一〇ベクレルでも心配する人からは、全部の食材を測定しているのか、という声があります。私たちも食材の放射線を測定していますが、不思議とこれまでに驚くほどの値を見つけていません。

その一方で、この会館の前にある針葉樹のゴールドクレストからは（一キロあたり）八〇〇ベクレルの値が出ました。常緑植物なので事故当時と同じ状態だからです。こういう植物には放射性物質が付着しています。白妙菊の草でも（一キロあたり）四〇〇〇ベクレルくらいでした。

2 全国の学校からの支援

「二〇月一三日付けのFAX通信より」（資料③参照）

「学校現場から、生活科の学習をするにあたって、『木の実や落ち葉を使いたいんだけど、放射線量がどれくらいだか、分からなくて……』『腐葉土からもたくさん放射線物質が見つかっているという報道もあるし……』『子どもたちは、目を離すと口に入れたりするんですよ』という不安の声が聞かれます。そこで組合で何ができるかを考えました。」

小学校一・二年生には生活科があつて、たくさん木の実や落ち葉が必要になります。そこで全国の教員の組合に呼びかけて、放射能に汚染されていないどんぐりや松ぼっくり、落ち葉を集めて郡山市内の学校へ配りました。三〇〇人以上の子どもたちに行き渡りました。協力してくれたのは、北海道や秋田、山形、新潟、石川、岡山、高知の教職員組合の関係者などです。

組合が情報発信、日本教職員組合の第六一次教育研究全国集会（二〇一二年一月二八日）で報告

郡山支部書記の中路良一さんは、同集会の第一分科会「情報化社会と教育・文化活動」で、原発爆発後の状況と、放射能汚染下での活動について報告した。報告の最後には「私たちの課題」として、「情報・メディアリテラシー」や「私たちの側からの原子力問題および放射線についての教育」の必要性など、八項目を挙げた。

「この分科会には、『情報化社会と教育・文化活動』だったので、情報の問題について話をしました。震災のあと、情報の大切さを身にしみて感じ、いろいろな情報を分析し、さらにここが情報の発信の主体になってやってきたことを話しました。」（中路良一さん談）

3 教組会館内に市民食品測定所がオープン

郡山市の市民団体が食品測定器を入手しました。カタログハウスから福島県内に八台の食品測定器が入っているようですが、そのうちの一台です。しかし、測定による収入は不安定で、場所を借りて電気代や人件費を払うのは難しい。測定費用は一検体三〇〇〇円と高いので、無料にできると良いのですが、測定器のメンテナンス

ス費用なども考えると下げるのは厳しい状況です。そこで、この会館内の印刷室を測定所として提供することになりました。今年一月から始まりました。教職員組合の組合員からも測ってほしいという要望があるので、組合でも利用させてもらっています（資料④参照）。

これまで米からは検出されず、水は三時間かけて一ベクレル未満でした。測定時間は、食品の場合は通常三〇分程度です。皮をむいていないリンゴで一六ベクレルでした。食品については想像するほどは出ていません。

でも、きのこからは放射能がものすごく出るそうです。ペラルーシでも乾燥きのこの基準は（二キロあたり）二五〇〇ベクレルと高い。今後はいろいろな食材を測って、実態を把握する必要があります。

福島県では食材をきちんと測定する体制ができています。しかし、汚染されているのは福島県だけではなく、栃木や群馬でも放射線物質は降っているのです。そこに暮らす人々の意識が低いのが危険だと思います。汚染されている地域は、県庁所在地から外れている所が多いために行政の動きがにぶい。放射線が高いのは福島市くらいで、水戸市も宇都宮市も、県庁所在地はみな低い。千葉県も東葛地域は高いのに、千葉市は低い。だから県の認識が低いことが問題です。実態は、文科省の汚染地図をみても、福島県外にもかなり汚染された地域があるのに、住民への注意を呼びかけていません。

そこに暮らす人たちのことが心配です。

4 情報を見抜く力をもつ

二〇一二年四月からは組合役員をおりて、小学校の現場へ戻ります。震災のあと、大切なことがわかりました。情報は、正しく伝わるとは限らず、情報の分析をしないとミス・リードされます。そのことを子どもたちに伝えていきたい。自分で測って納得することが大切です。

県は放射線量のデータを発表しましたが、信じられませんでした。ネットには危ないという書き込みがありますが、それも信じられません。何を信じていいのかわからない、という状況が大きな課題です。この状況はこれからのほうが深刻になると思います。

ここで暮らす人たちの意識がどうなっていくのか。分断がこわい。大丈夫だと思っている人がいっぱいいます。放射線によって急激に体調が悪くなるわけはありません。保護者で気にしている人に対しては、あの人は何を騒いでいるのか、とモンスター的に扱われつつあります。これが大きな問題です。学校の教員がどのような位置に立つのかで変わってきます。注意することにすることはない、と対応するのか。そんなに騒ぐならここから出ていったほうが良い、という対応をするのか。この分断が怖い。

私はインタビューを受けた二〇一一年六月よりも分断が広がっていると思います。危険だという人は、危険だという情報を拾ってきます。

